

# 資料編

敦賀絃子

## 電子書籍制作ソフト Sigil について

図 1 「Book View」

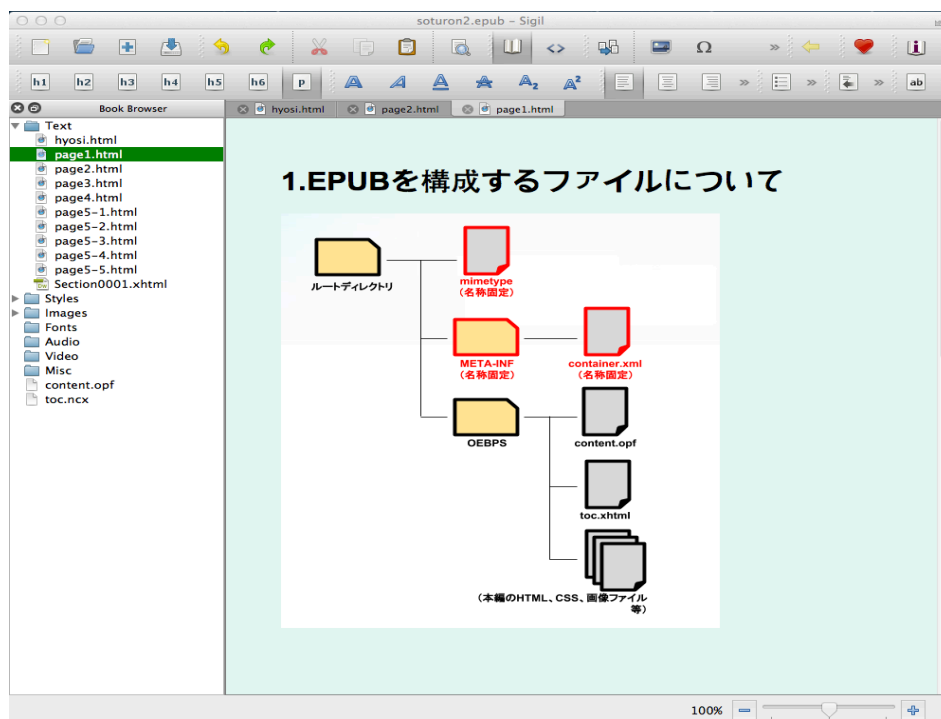
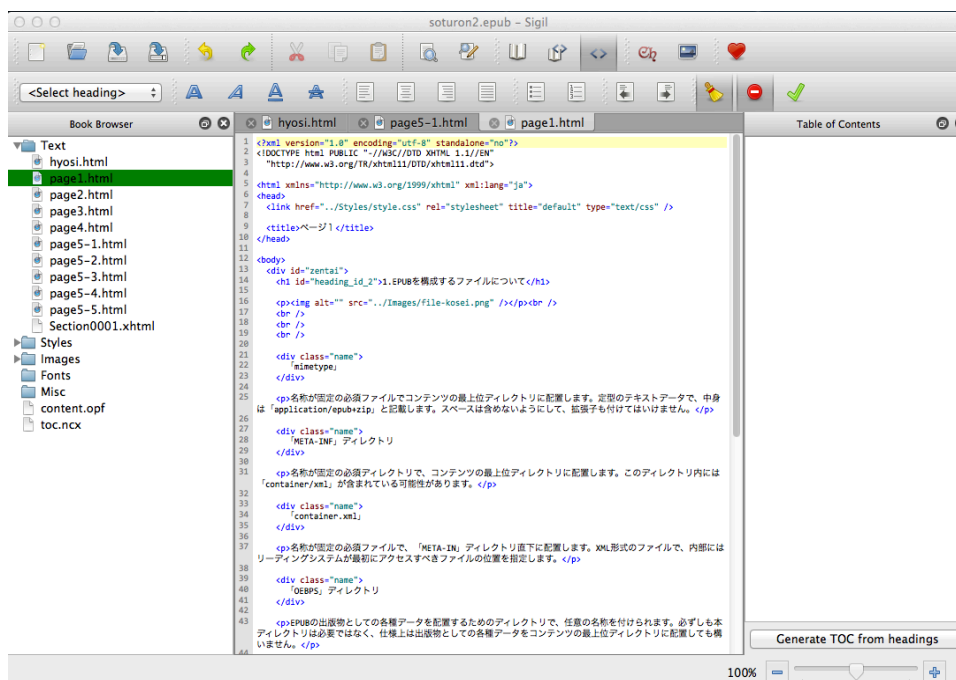


図 2 「Code View」



使用したソフト EPUB3

図3 目次機能(1)「toc.xhtml」

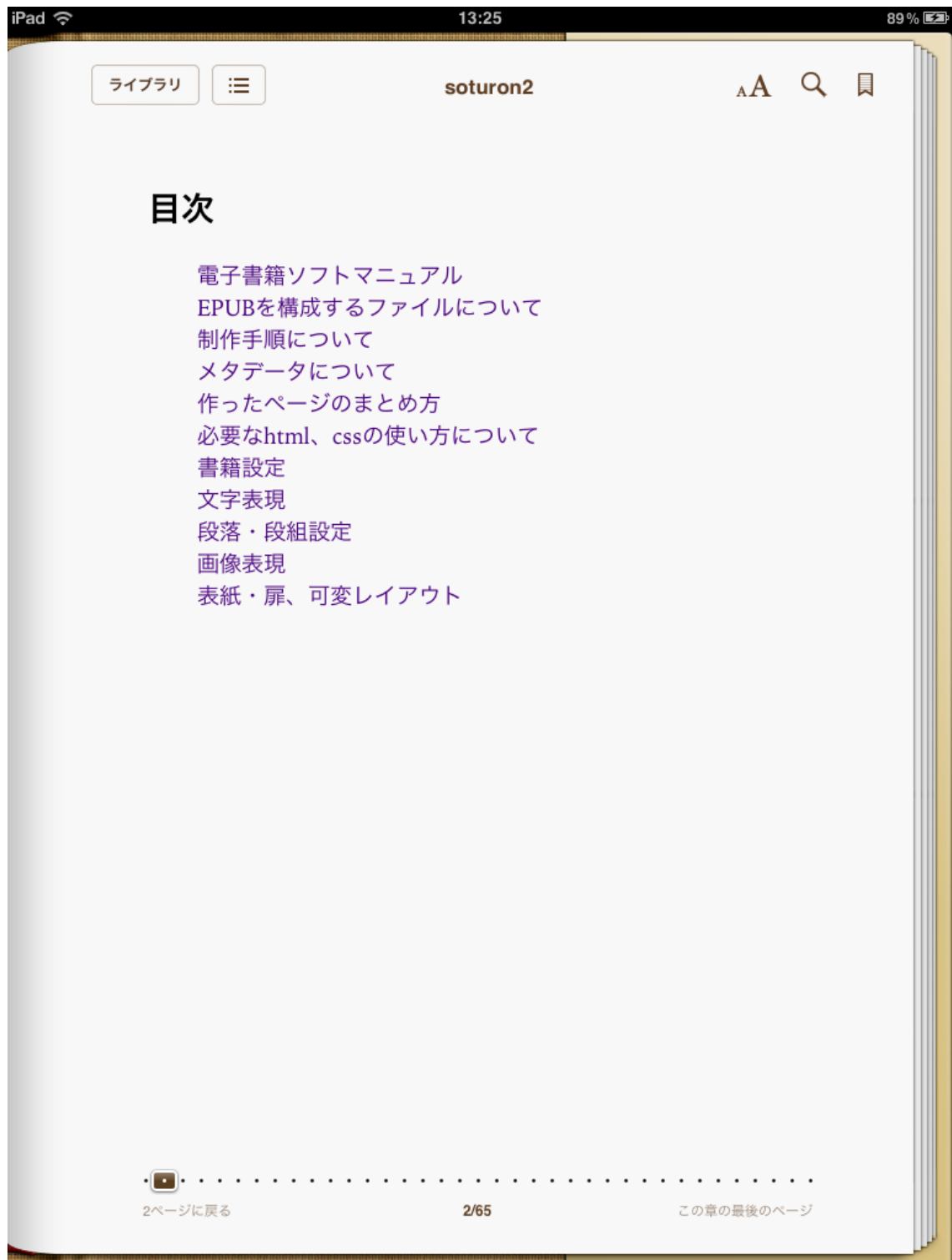
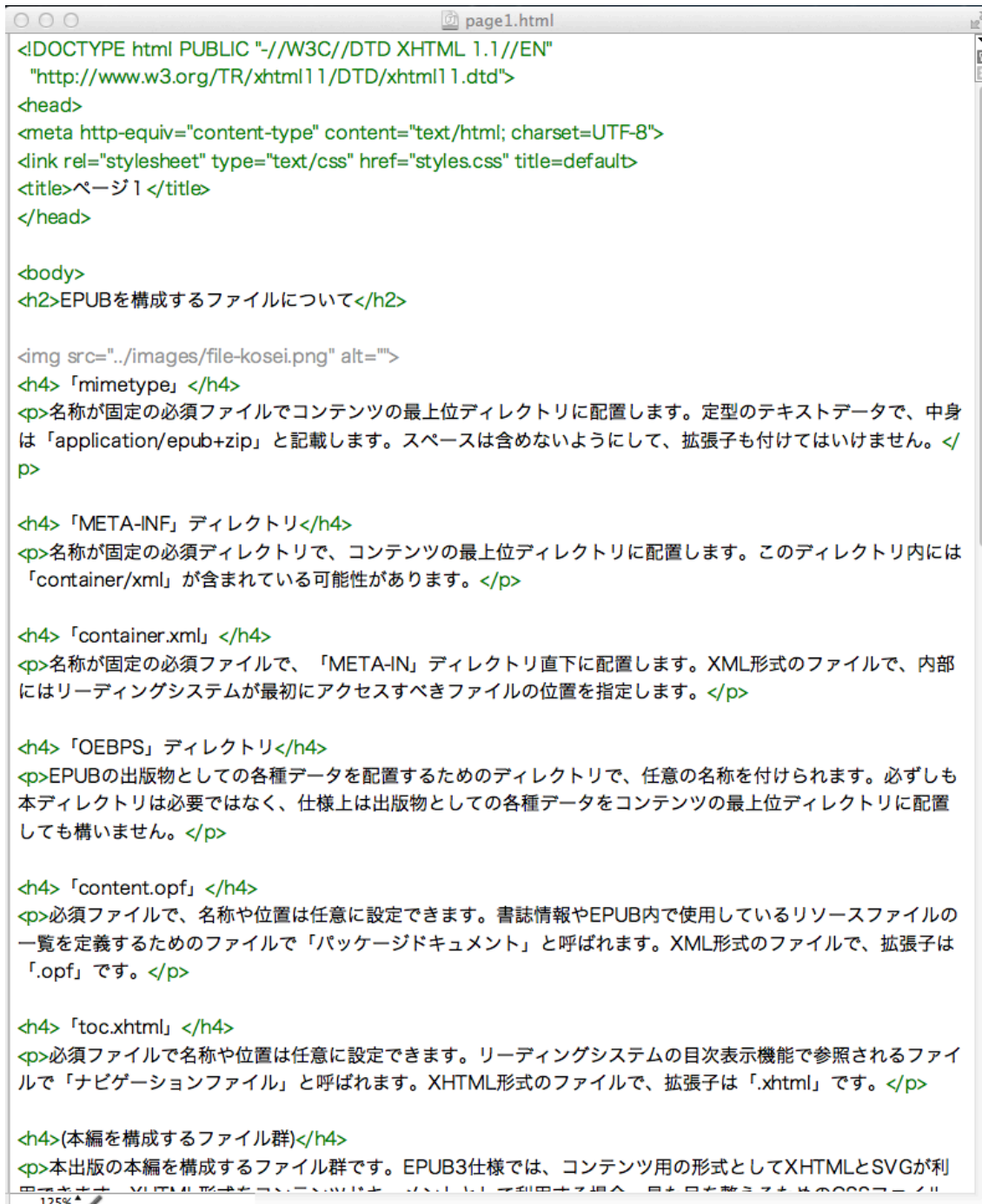


図4 目次機能（2）「toc.ncx」



## 制作過程

図5 JeditXでHTMLとCSSを構成したページ



```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.1//EN"
"http://www.w3.org/TR/xhtml11/DTD/xhtml11.dtd">
<head>
<meta http-equiv="content-type" content="text/html; charset=UTF-8">
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="styles.css" title=default>
<title>ページ1</title>
</head>

<body>
<h2>EPUBを構成するファイルについて</h2>


<h4>「mimetype」</h4>
<p>名称が固定の必須ファイルでコンテンツの最上位ディレクトリに配置します。定型のテキストデータで、中身は「application/epub+zip」と記載します。スペースは含めないようにして、拡張子も付けてはいけません。</p>

<h4>「META-INF」ディレクトリ</h4>
<p>名称が固定の必須ディレクトリで、コンテンツの最上位ディレクトリに配置します。このディレクトリ内には「container.xml」が含まれている可能性があります。</p>

<h4>「container.xml」</h4>
<p>名称が固定の必須ファイルで、「META-INF」ディレクトリ直下に配置します。XML形式のファイルで、内部にはリーディングシステムが最初にアクセスすべきファイルの位置を指定します。</p>

<h4>「OEBPS」ディレクトリ</h4>
<p>EPUBの出版物としての各種データを配置するためのディレクトリで、任意の名称を付けられます。必ずしも本ディレクトリは必要ではなく、仕様上は出版物としての各種データをコンテンツの最上位ディレクトリに配置しても構いません。</p>

<h4>「content.opf」</h4>
<p>必須ファイルで、名称や位置は任意に設定できます。書誌情報やEPUB内で使用しているリソースファイルの一覧を定義するためのファイルで「パッケージドキュメント」と呼ばれます。XML形式のファイルで、拡張子は「.opf」です。</p>

<h4>「toc.xhtml」</h4>
<p>必須ファイルで名称や位置は任意に設定できます。リーディングシステムの目次表示機能で参照されるファイルで「ナビゲーションファイル」と呼ばれます。XHTML形式のファイルで、拡張子は「.xhtml」です。</p>

<h4>(本編を構成するファイル群)</h4>
<p>本出版の本編を構成するファイル群です。EPUB3仕様では、コンテンツ用の形式としてXHTMLとSVGが利
```

教材内容

図6 EPUBを構成するファイルについて(1)

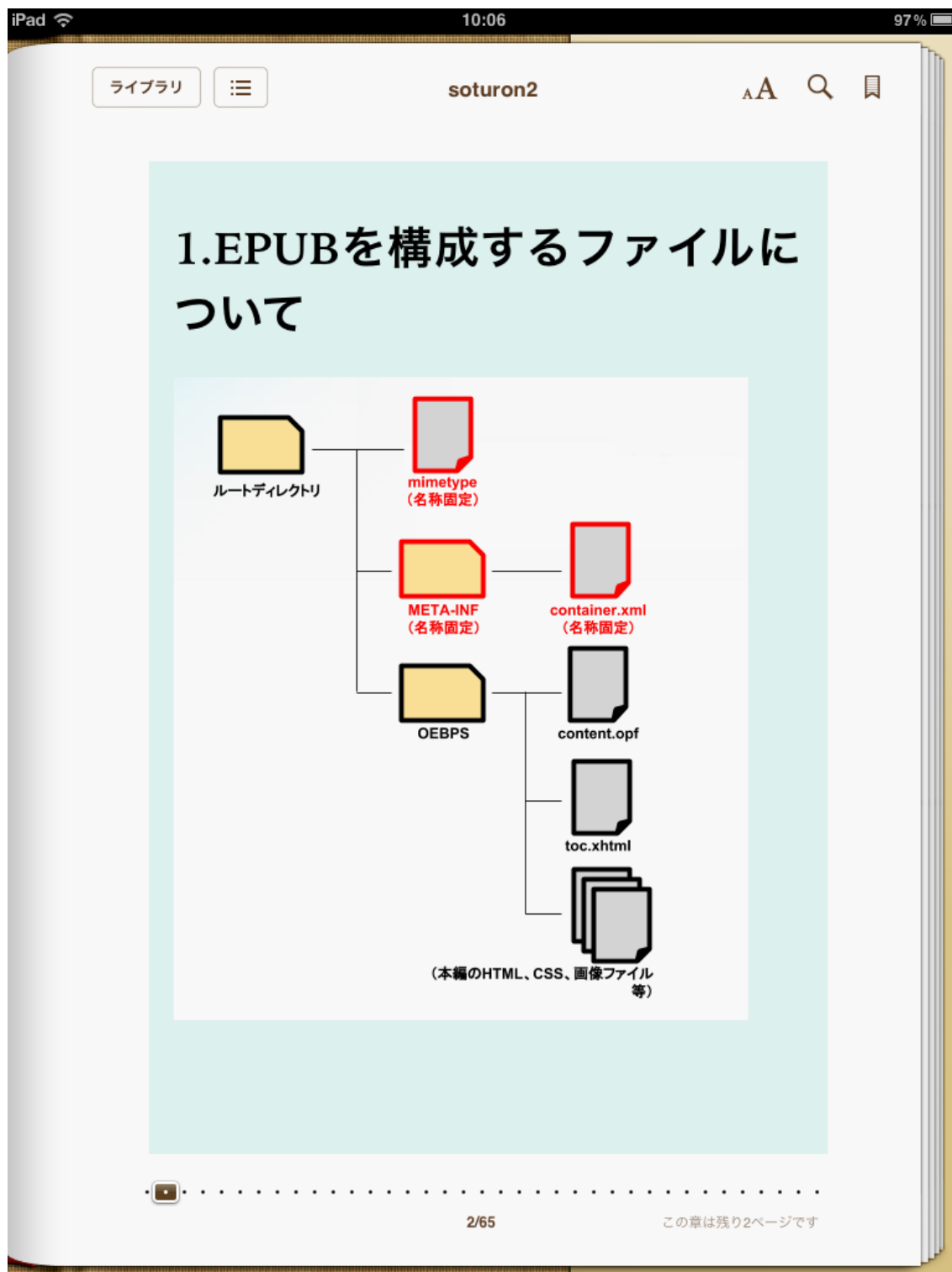


図 7 EPUB を構成するファイルについて (2)

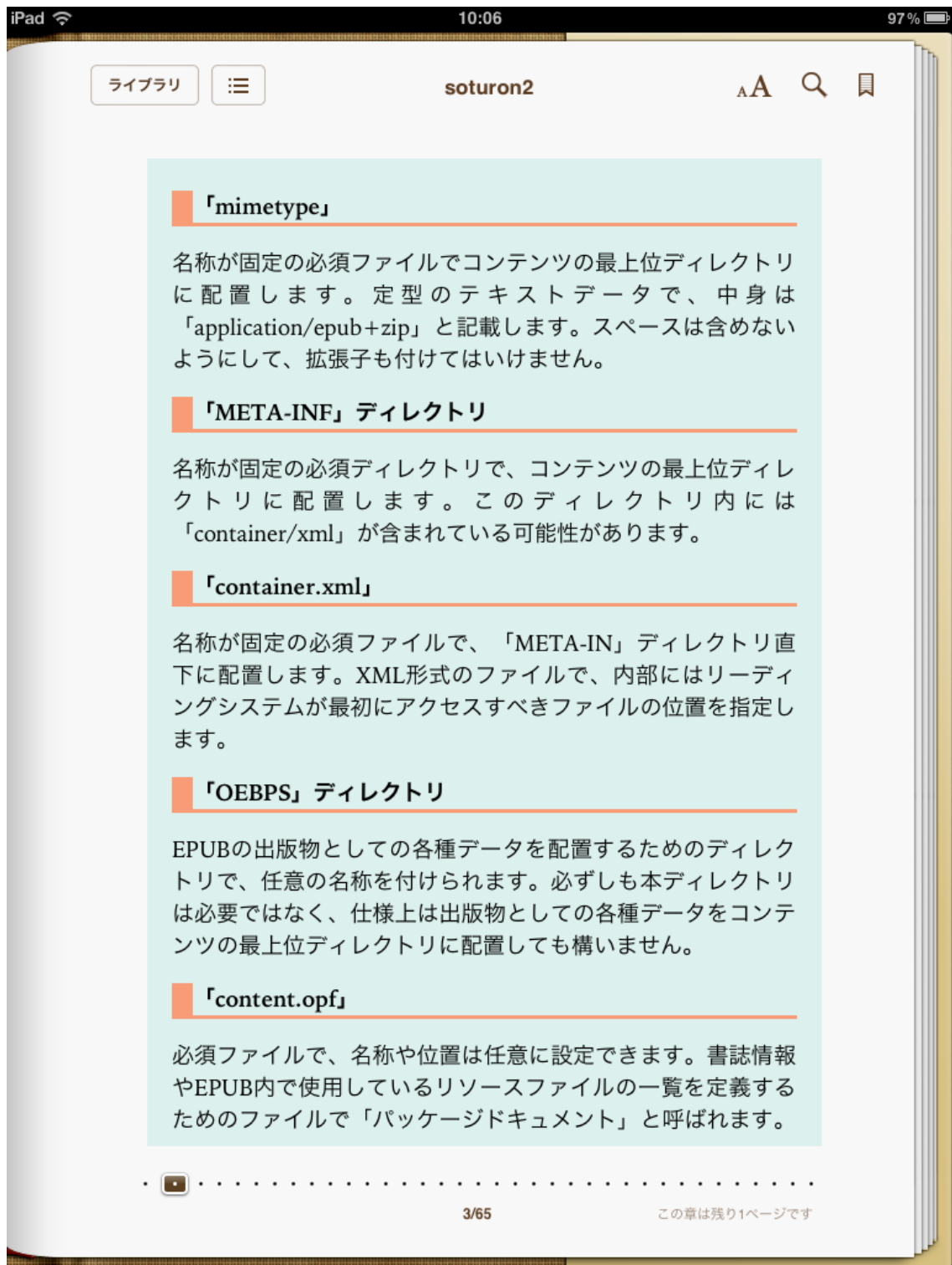


図 8 2 制作手順について

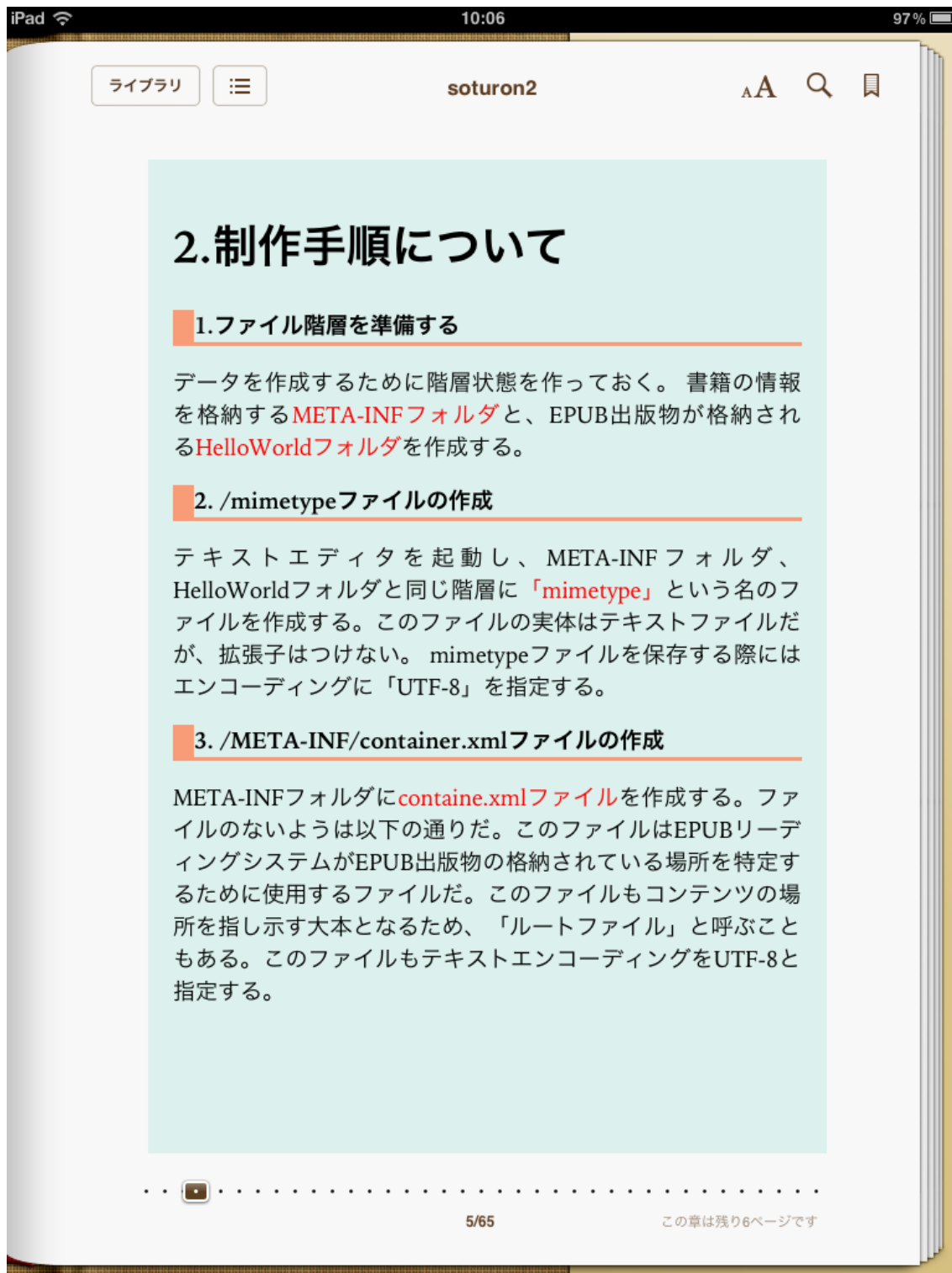




図 9 3 メタデータについて

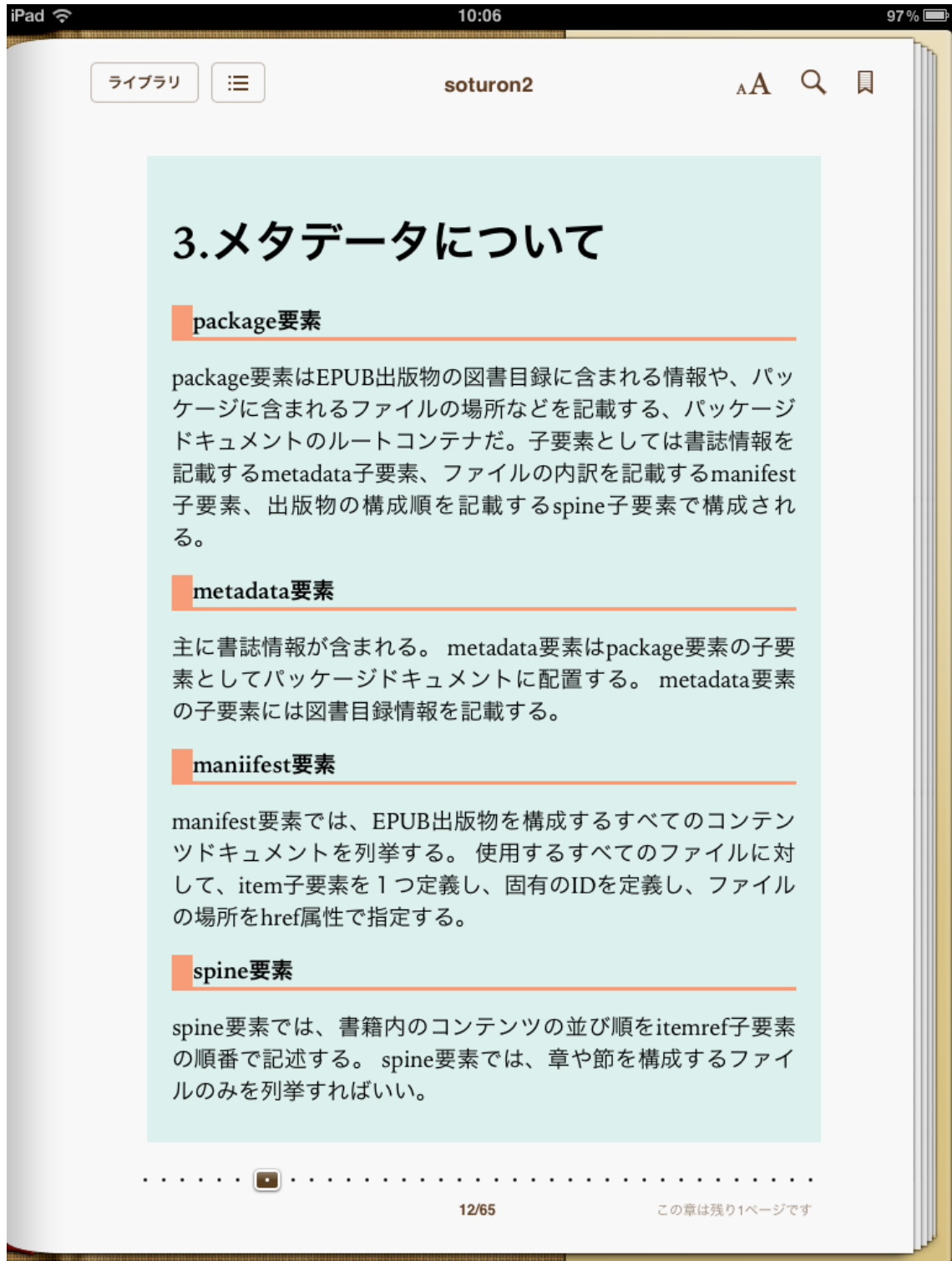


図 10 4 作ったページのまとめ方

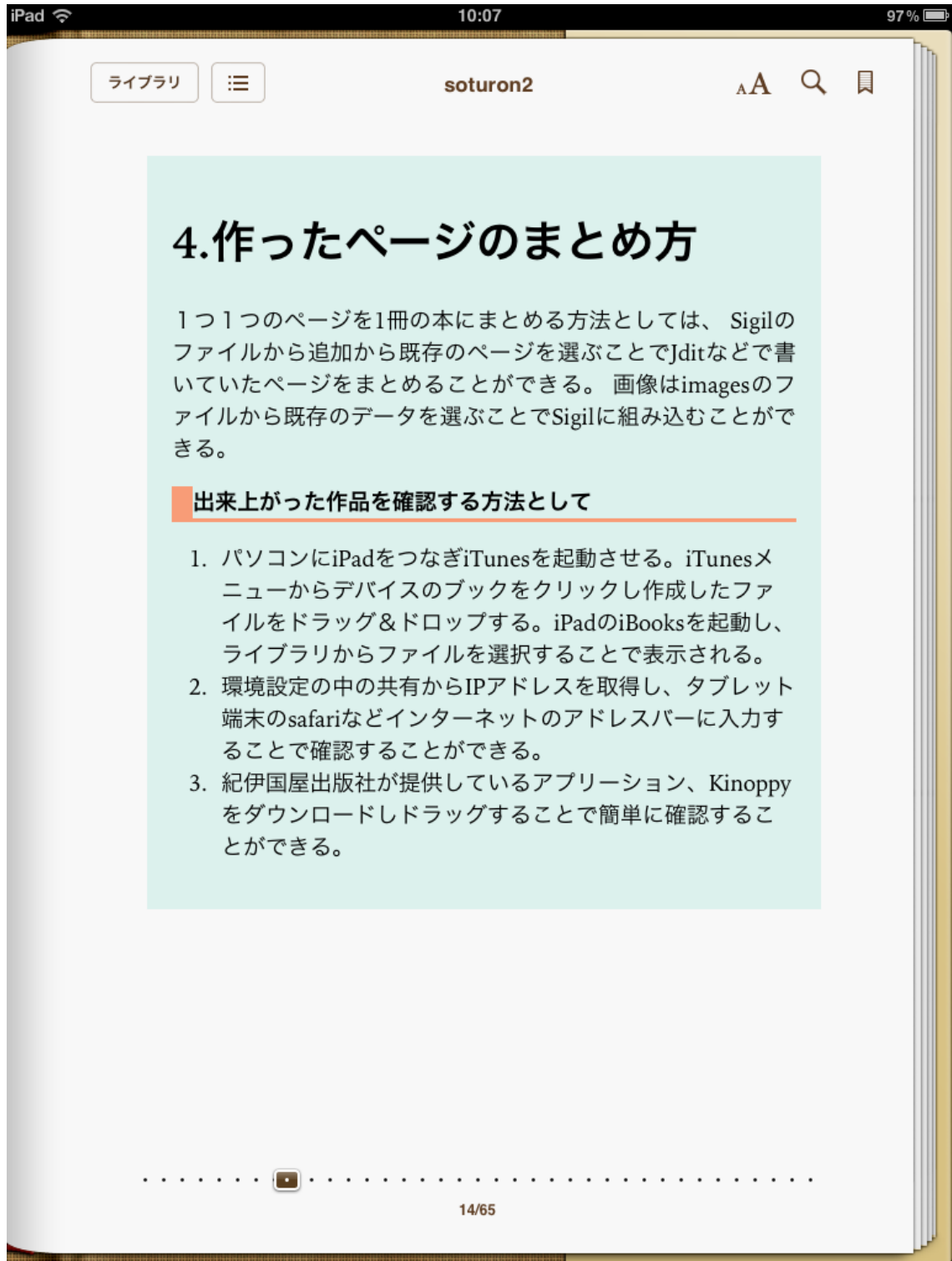


図 11 5-1 書籍設定

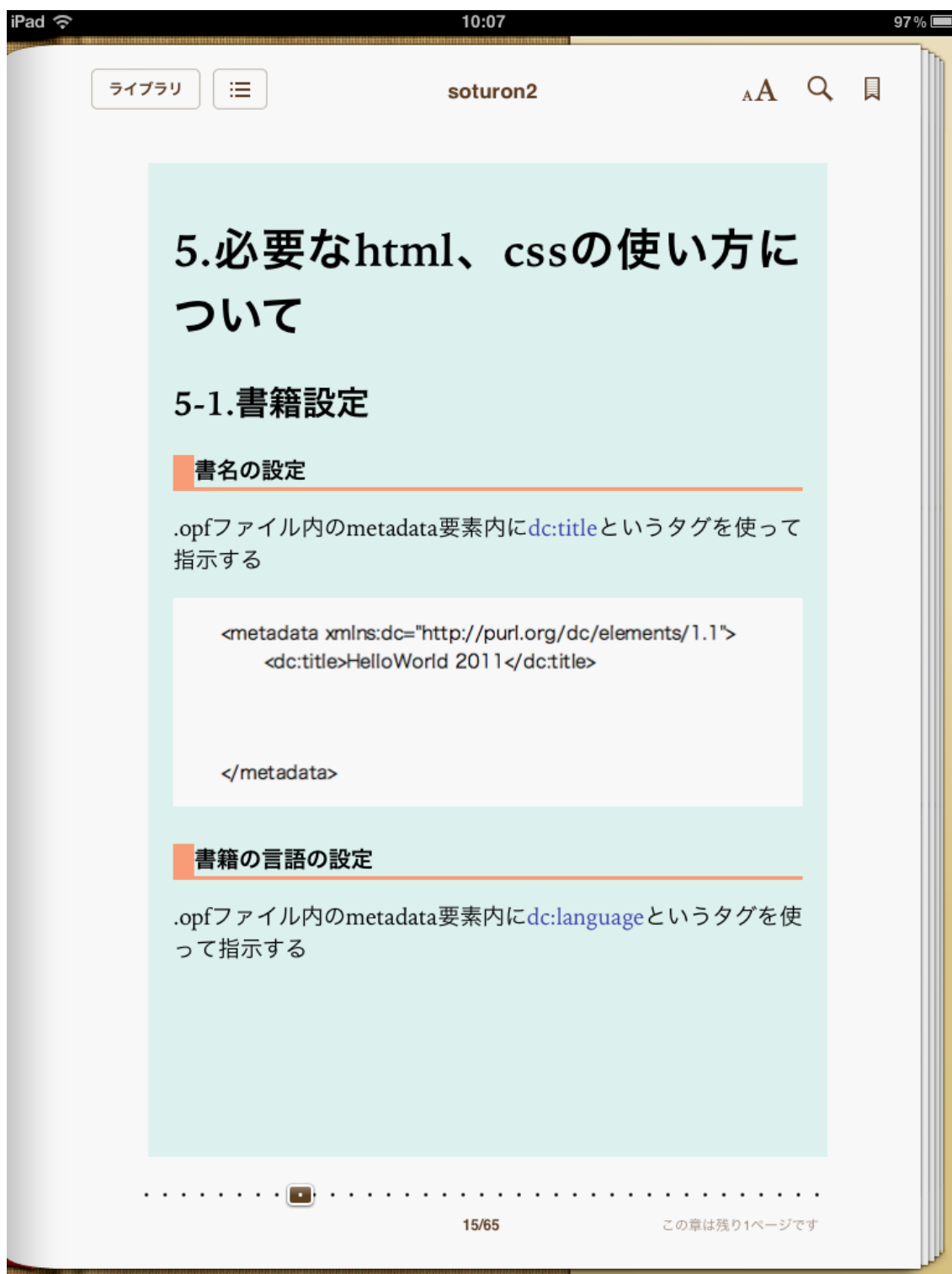


図 12 5-2 文字表現

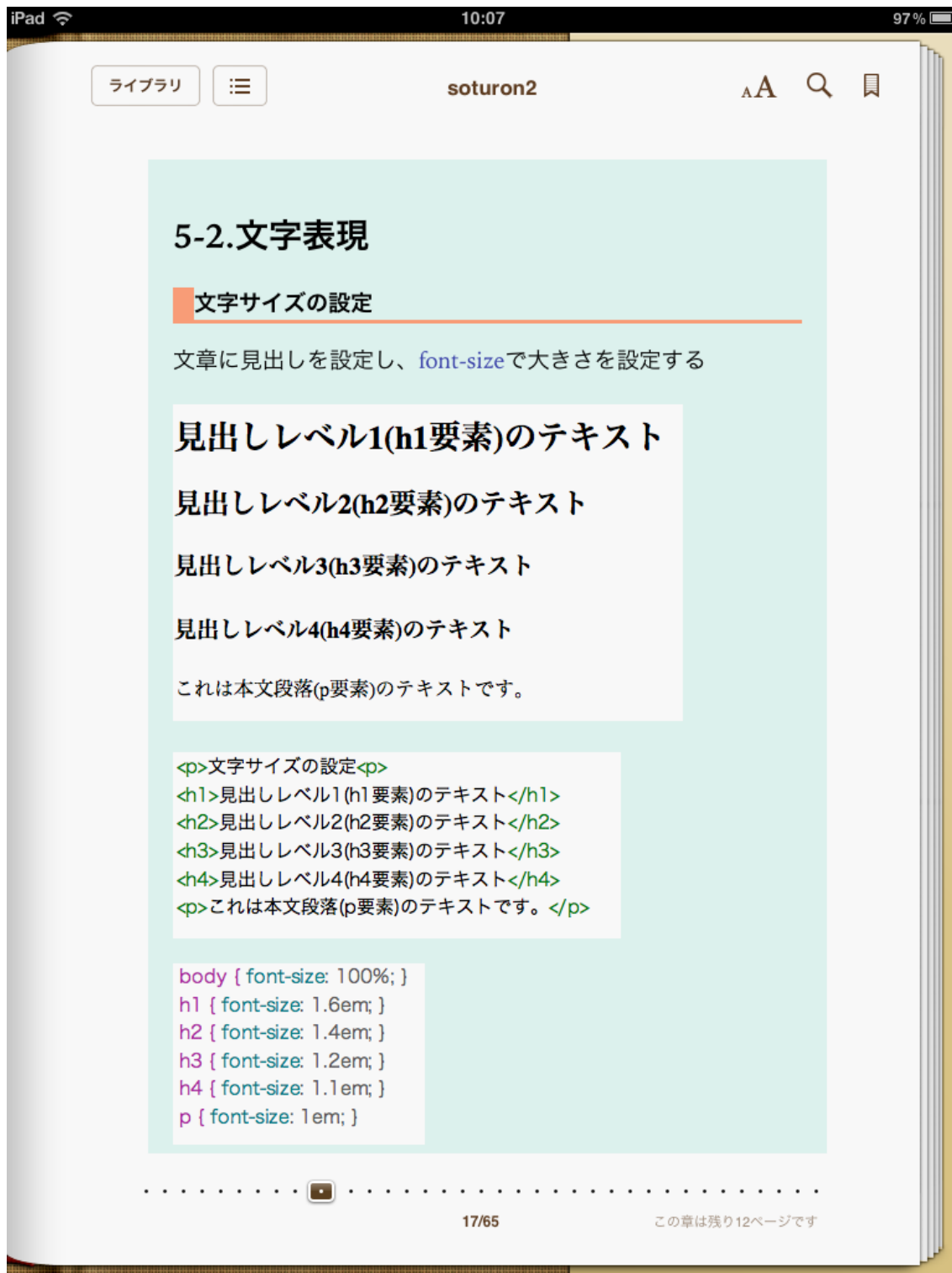


図 13 5-3 段落・段組設定



図 14 5-4 画像表現

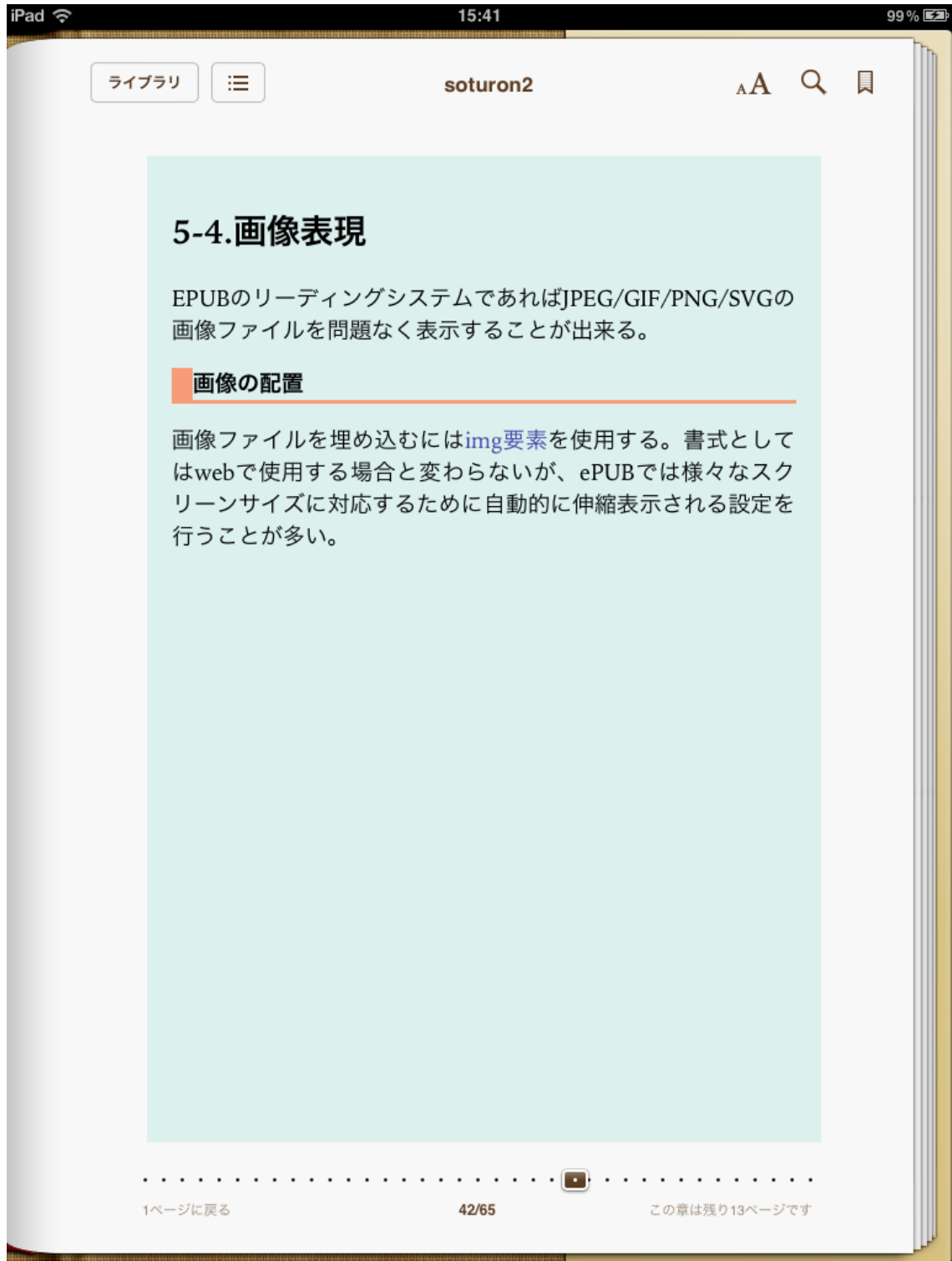


図 15 5-5 表紙・扉、可変レイアウト



図 16 問題点 padding の設定

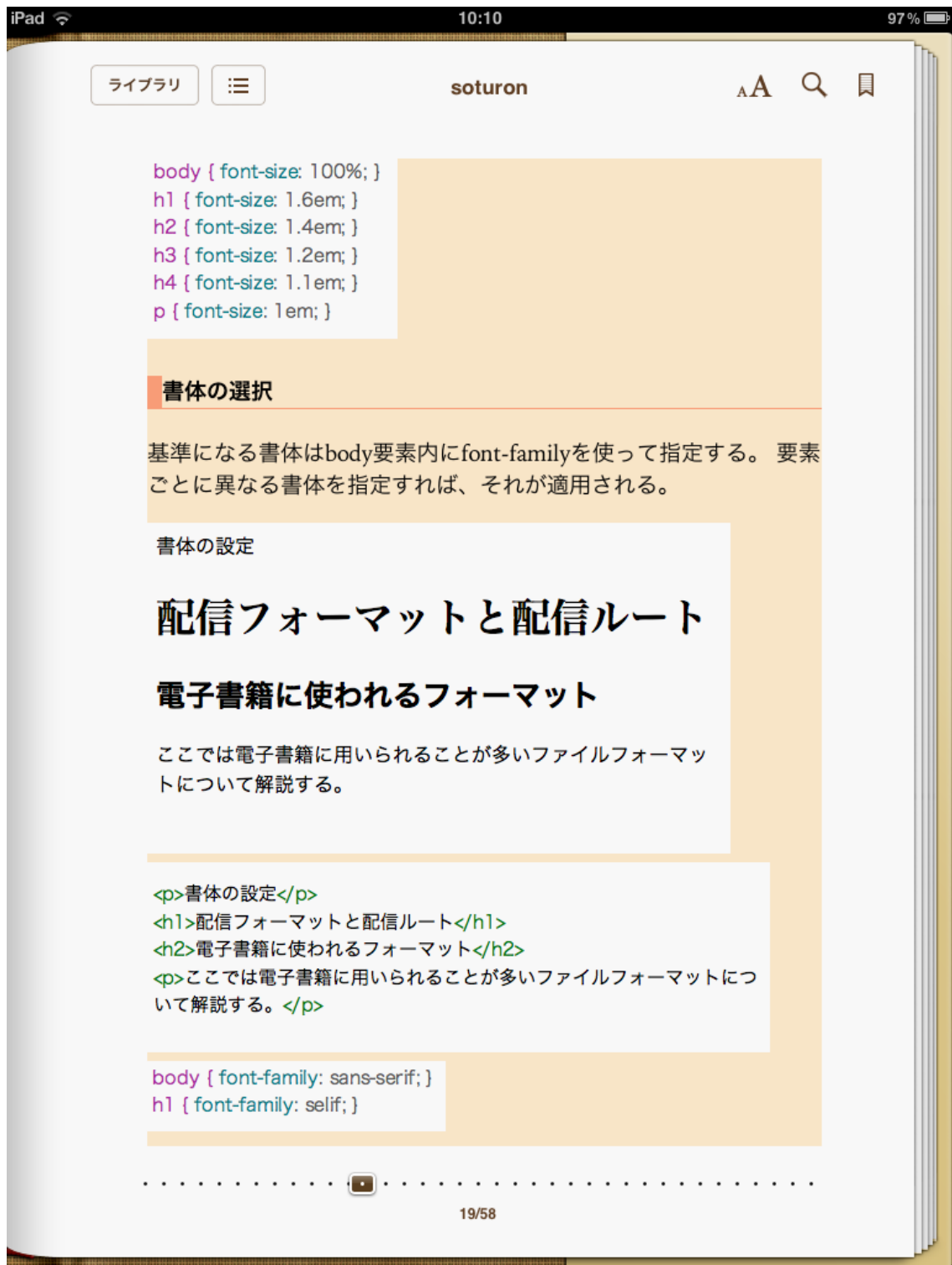




図 17 問題点 画像間の感覚

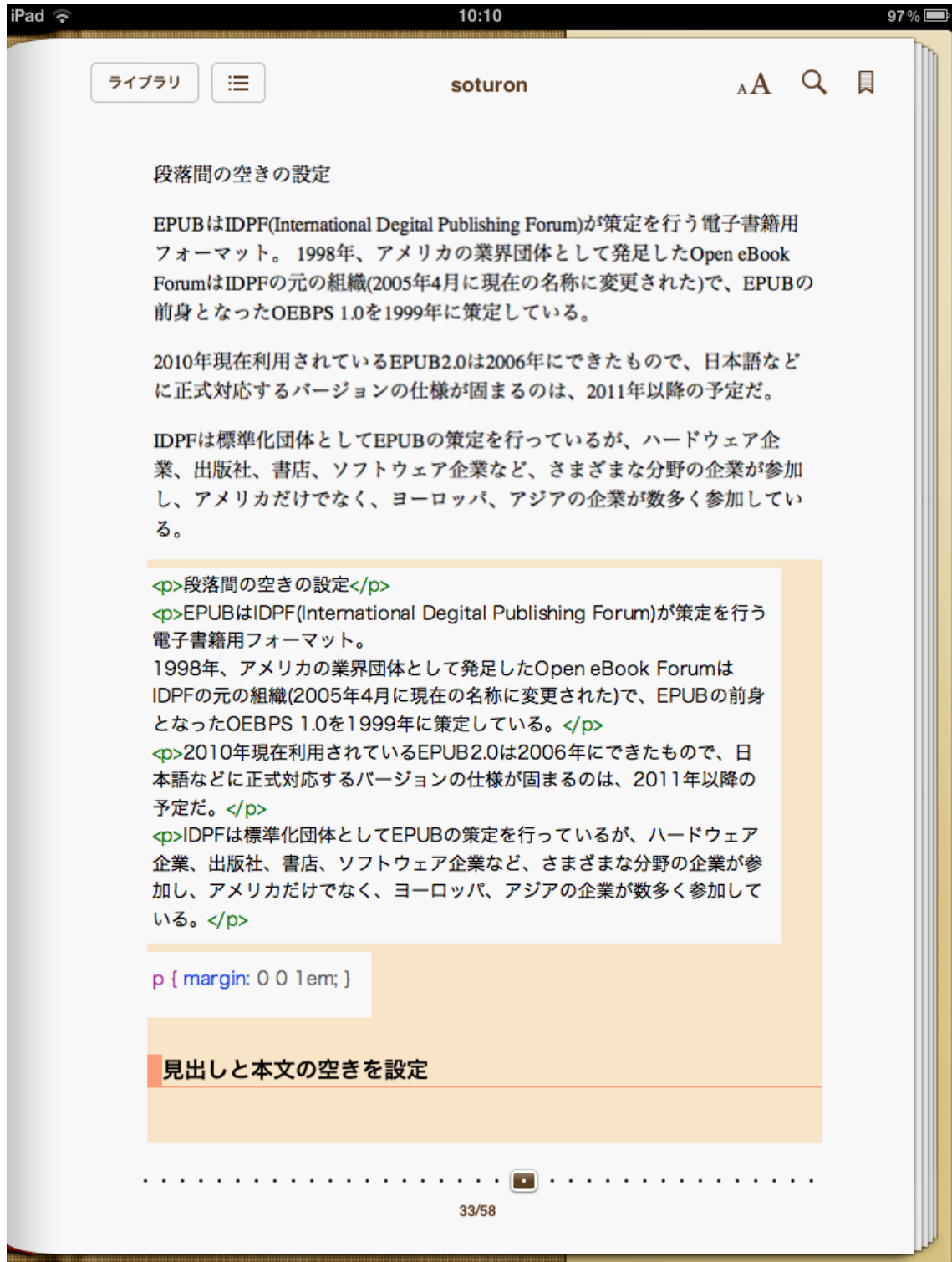


図 18 アンケート結果から

